

令和4年7月 市長定例記者会見

令和4年7月1日(金)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただ今より令和4年7月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては事業発表についてからお願いしたいと思えます。事業発表に係る質疑応答終了の後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、お手数ですが、まず挙手をお願いいたします。そして、ご自席のマイクのスイッチを入れていただきまして、ご質問の後はお切りいただきますようお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定しております。ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

それでは、市長、よろしく申し上げます。

【市長】 では、7月の定例記者会見、よろしくお願いいたします。

議会も終わりました、6月28日には北陸の梅雨明けということでございますが、非常に暑い日が例年よりも長く続くんだろうというふうに思っております。その中で、電力の制限もありますけれども、学校とか保育園とかそういうところでしっかりと対応しながら、熱中症にならないように進めていきたいというふうに指示したところでもございます。

もう一つは、ざぶとん会を3年ぶりに再開させていただきました。北地区と南地区、2か所させていただきましたが、市民の皆様のいろんなご意見を聞けるということで、しっかりと進めていきたいと思っておりますし、また、市民の皆様の声を反映させるように努力していきたいと思えます。

あとは、昨日、原子力小委員会に出席させていただきました、意見を述べる機会をいただきましたので、エネ基の再稼働等、それから国民理解を進めていただくようお願いしたところがございます。

ウクライナの侵攻ということもありますし、いろんな価格の高騰もありますので、やはりクリーンなエネルギーとしての原子力というのはしっかり前に進めていただきたいと考えております。

本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願ひいたします。

【市長】 では、事業発表は2つでございます。

1つ目は、令和4年度敦賀市防災訓練の実施についてであります。

明日の2日土曜日と明後日の3日の両日、市民及び職員の防災力の向上、また防災関係機関相互の連携強化を目的としまして敦賀市防災訓練を水防訓練と合同で実施します。

7月2日土曜日は、ここ防災センターにおきまして災害対策本部運営訓練を、古田刈公園におきましては水防訓練を、また、栗野スポーツセンターにおいて住民参加によります避難所開設訓練を実施します。

さらに、3日日曜日には、新たな試みとして、北陸初となります各家庭で参加いただくリモート型防災アトラクションを実施します。参加者は、Zoomに接続し、オンラインで防災謎解きや災害備蓄品ミッション等を体験いただきます。ご家族で楽しみながら防災について学ぶことができるアトラクションとなっていますので、ぜひ市民の皆様も参加の申し込みをお願ひいたします。

それから2つ目ですけれども、敦賀市のごみアプリの配信開始についてであります。

本市では、ごみ収集に関する市民の利便性の向上及び確実なごみ分別を推進するため、本日、7月1日から敦賀市ごみアプリの配信を開始しました。このアプリでは、ごみ収集カレンダーが表示されるとともに、ごみの出し忘れ防止のための通知の設定ができるものとなっています。

また、ごみの分別方法について、品目により検索ができるようになっておりますので、ごみの分別が容易に確認できるようになります。

さらに、アプリの主な機能につきましては、英語、中国語、韓国語、ベトナム語の4か国語に対応しています。

シンプルで分かりやすいアプリになっていますので、ぜひ市民の皆様にご活用いただきたいと思ひます。

発表項目は以上2項目です。よろしくお願ひいたします。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきましてご質問をお受けしたいと思ひます。幹事社さんのほうからお願ひいたします。

【記者】 ごみアプリの点で1点、質問です。今回このアプリの導入で、市民の利便性、あと、ごみの分別促進を図るのが狙いということですが、今ごみの分別というのが

環境保護ということで国内的、世界的にも言われてはいるんですけども、その点を踏まえて、このアプリを運用することで自然環境的に何か期待していることとか、そこら辺ありましたらお願いいたします。

【市長】 毎週のごみ出しについては、皆さんよく分かっていらっしゃると思いますが、資源ごみとか、そのタイミングが分からないごみ、2か月に1回のごみ収集日もありますので、それが一つ分かって、そのタイミングで出せるということが分別につながると思っていますし、外国人の方たちの多言語ということもそこにつながっていくだろうと。あと、先ほど言いましたように検索、これは何のごみになるのか分からないというのが悩むところがあると思いますので、そこで分けていただいて、しっかりと再利用できるような仕掛けにしていきたいと考えております。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきまして質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へと移らせていただきます。幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 敦賀市の節電への取り組みは何かされていらっしゃるのでしょうか。今日あたりから。

【市長】 新庁舎につきましては、節電の認証を受けておりますので、そういう対応をしていると思いますが、詳しくは部長のほうからお答えします。

【総務部長】 新庁舎になりまして、ZEBといたしまして、エネルギーの消費量が少ない施設にそもそもなっておりますので、基本的には建物自体が基本的な節電の施設と捉えております。

以上です。

【市長】 全体を冷やすんじゃなくて、スポットクーラーみたいにして冷やすような、そういう仕掛けになっているらしいです。

【秘書広報課長補佐】 幹事社さん、よろしいでしょうか。

それでは、各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 先立っての議会の特別委員会で、ottaの開業9月1日というのが発表されたわけですけども、いよいよあと2か月に近づいてきてまして、その辺への期待感みたい

なものがありましたらお願いいたします。

【市長】 o t t aにつきましては、私も写真で完成図というか写真のパスを見ているわけなんですけれども、市民の人たちが楽しめる場所ということと、観光の方たちがそこでにぎわいができるという仕掛けになるようにということでやっています。一つは、ちえなみきがありまして、今オルパークで勉強していたりする学生さんとかもいますけれども、あの人たちがちえなみきに来るのかなというような考え方を持っています。

また、お子さんを預ける場所もできてきますので、そうすると迎えにきたり送ってきたりしたときに本屋さんに寄ったり、あそこで滞留したりする時間があるのかなと。また、今はなかなかできないと思いますけれども、市外から敦賀市に来た人たちとかもそこで子供さんを預けられれば、いろんなにぎわいのつくり方というのが表れてくると思っています。

あとは、飲食施設等ができますので、昼だけでなく夜もにぎわっていくと思っております。

あと部長から、つけ足すことがあればお願いします。

【都市整備部長】 さきの議会のほうで9月1日供用開始ということで、駅前土地活用事業、いよいよ最終段階で8月30日に完成式典をさせていただいて9月1日からと発表させていただいたところがございます。ちえなみきについては、指定管理者、丸善グループが市民コミュニティー活動を既に始めておりまして、ちえなみきで、例えばクラフトをやっている人であればクラフト教室がやりたいとか、本が好きな人であれば自分の本の選書の棚をつくりたいとか、そういった市民がふだん使いとして様々な居場所づくり、あるいは発表の場としても活動いただけるというようなところを既に行っているところがございます。市民にとってはふだん使い、来訪者にとっては観光スポットにいぎなう場所としての役割に加えて、そうした様々な活動の拠点となってくれることも市としては大変期待しているところがございます。

補足については以上でございます。

【市長】 非常に楽しみにしています。

【記者】 関連してなんですけれども、こうした期待感がある一方で、議会のときのタイミングでは、まだ9月の時点で少し空きがあるというようなお話もありました。そこに対する受け止めと、また、そこを逆にどう今後チャンスを捉えていきたいかみたいなものがありましたら教えてください。

【市長】 空きの店舗が3つほどあるというのは聞いていますけれども、詳しい話は部長のほうがよく知っているなので、部長からお答えします。

【都市整備部長】 議会の中で、7店舗は既に青山財産ネットワークス様が契約済みということで発表させていただいたんですけれども、残り3区画程度は現在まだ交渉中というところで、市としては、しっかり8月30日にはぜひとも契約、オープンはできなくても契約までこぎ着けていただきたいというリクエストはしたところでございます。

一方で、100年に一度の新幹線開業という契機と、スペイン風邪から100年に一度のパンデミックというのが重なってしまって、新幹線100年、パンデミック100年というところでテナントリーシングについては非常に苦労した駅前開発であるということも事実でございます。

ただ一方で、新幹線開業までまだ1年半ありますので、民間事業者としては、あまりハードルを下げて魅力のないところを入れるよりも、しっかり準備して魅力のあるところをそろえて新幹線開業を迎えたいという思いもあることですので、9月1日にそろえば我々としてはありがたいですけれども、オープンから1年半後の新幹線開業を見据えて、長い意味で事業計画を立てて進めていただければなという思いもございます。

以上です。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、これをもちまして7月の市長記者会見を終わらせていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

午後1時45分 終了